



The Kusanomi Children's Choir

# SUMMER CONCERT

2015 草の実ピチアンサンブルとチェロ&ピアノデュオコンサート

2015年8月21日[金]・18:00 start

[会場]ANAクラウンプラザホテル宇部・万葉の間

[出演]合唱:草の実ピチアンサンブル / 指揮:中村明美 / チェロ:黒川正三 / ピアノ:黒川文子

## PROGRAM

### Part.1

草の実のア・カペラ

アドラムス・テ・クリステ[パレストリーナ] / 贅い少女[ブーランク] / 委嘱作品「影絵～小麦の中の小人～」作詩・新美南吉 作曲・山岸徹

### Part.2

音楽の贈りもの～チェロとピアノのデュオ～

協奏的変奏曲[メンデルスゾーン] / 夢のあとに[フォーレ] / グランタンゴ[ピアソラ]

### Part.3

日本の叙情～合唱と器楽のアンサンブル～

てんさぐの花 / 島原地方の子守唄

他

design: JIEN ©Ostelzak

[チケット取扱]宇部井筒屋・幸太郎本舗宇部店(予定) [チケット] 1,000円

[お問合せ先] ☎ 0836-33-2768 (宮原)

[主催]草の実少年少女合唱団・ベッラ・アルモニア

[後援]日本コダ一イ協会・山口県合唱連盟・宇部市教育委員会・宇部日報社



- 1979年 草の実少年少女合唱団創設
- 1989年 ウィーン世界青少年音楽祭 第2位 山口県メダル栄光賞
- 1995年 国際コーダーインシノボジウム (イタリアのアンジス市)で 公開レッスン 単独コンサート 山口県文化振興財団の助成
- 1997年 委託作品 宮澤賢治作 「雪遊び」初演
- 2001年 第30回ウィーン世界青少年音楽祭 第3位 スロバキア・ハンガリーの音楽祭招待 8月 文化振興財団の助成 11月 山口県芸術奨励賞受賞
- 2002年 芸術文化奨励賞受賞記念演奏会
- 2004年 草の実合唱団創設25周年記念演奏会 山口県文化振興財団の助成
- 2005年 スプリングコンサート in 山口 (山口県教育会館) 11月 指導者 山口県文化功労賞受賞
- 2006年 日本コーダー協会全国大会 (東京) 津田ホールで演奏 8月 サマークンサート in 宇部 11月 国民文化祭全国少年少女合唱祭 山口県代表
- 12月 クリスマスコンサート (宇部カトリック教会)
- 2007年 8月 全日本合唱コンクール山口県大会 金賞受賞 12月 山口県芸術演奏会 (宇部高辻記念会館)特別参加 12月 クリスマスコンサート (宇部全日空ホテル)
- 2008年 8月23日-24日 コーダーインシノボジウム in 宇部 草の実30周年記念演奏会 (宇部高辻記念会館) 山口県文化振興財団の助成 12月25日 クリスマスコンサート (宇部カトリック教会)
- 2009年 7月26日 サマークンサート in 宇部(宇部全日空ホテル) ポップルコトを歌う 12月23日 クリスマスコンサート (宇部カトリック教会)
- 2010年 7月25日 サマークンサート (山陽小野田市文化会館) 11月19日 主宰者 山口県選抜 (文化芸術部門)J授与 12月23日 クリスマスコンサート (宇部カトリック教会)
- 2011年 8月27日 Dr.サポートヘルガ追悼演奏会 (宇部カトリック教会)
- 2012年 3月31日 京都演奏会 (京都府京都文化博物館) 8月24日 サマークンサート (ANAクラウンプラザホテル) 委嘱作品「光の花束」発表 12月16日 第40回山口県芸術演奏会 (山口市民会館)
- 2013年 8月24日 草の実サマークンサート (宇部カトリック教会) 委嘱作品「長調のミニサ曲」発表
- 2014年 7月31日 探検!草の実わらべうた!! (宇部市立図書館) 8月21日 草の実サマークンサート (ANAクラウンプラザホテル) 委嘱作品「天空に遊ぶ」発表
- 2015年 7月 京都アルティ声楽アンサンブル大会へ出場

## Kusanomi Children's Choir

Educator 指導者●中村 明美

草の実では年齢、性別、学校、地域を越えて合唱音楽の素晴らしさを追求し、子どもたちの可能性を引き出していく。なかまといっしょに歌う、考える、創造する。なかまを思いやり、助け合うことができる。ひとりでも歌い、自分の考えを持ち、ときめいて学ぶことができる。芸術的合唱曲を歌い嬉ぎながら、良い音楽を愛好し、日本人としてのアイデンティティー、世界に通用する積極的な表現力、行動力、実践力を育てています。

【中村明美】山口大学教育学部卒。合唱指導歴約45年。教鞭歴35年。学級担任として音楽専科として、子どもの表現の可能性について研究と実践を重ね、今なお永遠の課題として研鑽中。山口県音楽家協会会員。国際コーダー協会会員。日本コーダー協会会員・地区代表理事を経て諮問委員となる。宮澤賢治学会会員。

音楽を通して人を育てています。

## Guest players

Cello チェロ●黒川 正三

東京藝術大学を経て同大学院修士課程修了。同大学にて安宅賞受賞。大学院在学中に東京フィルハーモニー交響楽団に入団。1980年、ピアニスト黒川文子と第1回デュオリサイタルを行う。同年、東京フィルハーモニー交響楽団を休団しウィーンへ留学。ウィーンフィルハーモニー管弦楽団元首席チェリスト、エマヌエル・ラベツ教授に師事。オーストリア国営放送のテレビにデュオで出演。また、ムジークフェライン・ブームスザールにて日本大使館主催コンサートに出演。1982年、帰國と同時に東京フィルハーモニー交響楽団に副首席として復帰。NHK-FM出演などをはじめ、各地でさまざまなコンサートを企画、演奏している。2001年、天皇皇后両陛下ご臨席のサロンでデュオコンサートを行い、翌年には皇居にお招きをいただき再び演奏した。1991年、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者となる。同楽団公演ではドヴォルザークの協奏曲を1994年にヴァルフанг・ボーテ氏、2002年に大町陽一郎氏の指揮で演奏、またNHKの委嘱による丹波明氏の協奏曲「オリオン」の世界初演、CD録音、ヘンツェの協奏曲の本邦初演なども行っている。

同楽団を定年まで勤め、2015年1月退団。

1995年、フィルハーモニーカンマー・アンサンブルを結成、主宰。



Piano ピアノ●黒川 文子

東京藝術大学卒業。同大学院修了。松野景一教授に師事。ウィーン国立音楽大学へ留学。エドゥアルド・ムラツェック教授に師事。また、チェロのエマヌエル・ラベツ教授のもとデュオのレパートリーを学ぶ。帰国後、東京藝術大学において弦楽および声楽の伴奏助手を務める。チェロの黒川正三とのデュオでリサイタルを重ね、NHK FMにもしばしば出演。また、バイオリンとチェンバロをジェイムズ・ドーソン氏に師事し、演奏活動の領域を広げる。現在フィルハーモニーカンマー・アンサンブルのメンバーとして、東京オペラシティにおける定期演奏会を始め、サロンコンサートや夏の山荘コンサートなど定期的な室内楽の公演を行うほか、ソロ、声楽伴奏でも多くの演奏活動を行っている。

聖徳大学及び同大学院講師、三光教会オルガニスト。



Composer 作曲●山岸 徹

朝日作曲賞、新・波の会日本歌曲コンクール作曲部門優秀賞他を受賞。全日本合唱コンクールや日本歌曲コンクールの課題曲を作曲。近作としては、「ト長調のミニサ曲」(草の実少年少女合唱団委嘱作品)、「女声合唱曲集×季節の影」(マザーアース刊)、「新美南吉の詩による混声合唱のための<5つの歌>」(カワイ出版刊)などがある。大阪教育大学特設音楽課程作曲専攻卒業、同大学院修了。現在、大阪キリスト教短期大学教授、同志社女子大学嘱託講師。NHK学校音楽コンクール(近畿ブロック他)、関西合唱コンクール等、各地で審査員も務める。日本作曲家協議会、神戸波の会会員、ひょうご日本歌曲の会理事、全国大学音楽教育学会理事、同関西地区学会会長

## Composer's Guests

